



表紙のことば

11月4日、原野谷川親水公園で、「袋井消防フェスタ」が行われ、たくさんの家族連れでにぎわいました。

レスキュー体験では、子どもたちが綱渡りに挑戦。高さ1mに張ったロープをバランスをとりながら上手に渡りました。

また、はしご車やポンプ車の乗車体験、防災ヘリコプターの展示、AEDの操作法の説明、消防団ラッパ隊や園児による演奏のほか、消防団一斉放水なども披露され、会場を訪れた皆さんに防火を呼び掛けていました。

市民の動き

人口 / 86,163人 (前月比+61人)

(外国人登録者3,999人含む)

男性 / 43,553人 (前月比+26人)

女性 / 42,610人 (前月比+35人)

世帯数 / 30,091世帯(前月比+42世帯)

平成19年11月1日現在



2007年(平成19年)12月1日発行 第65号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

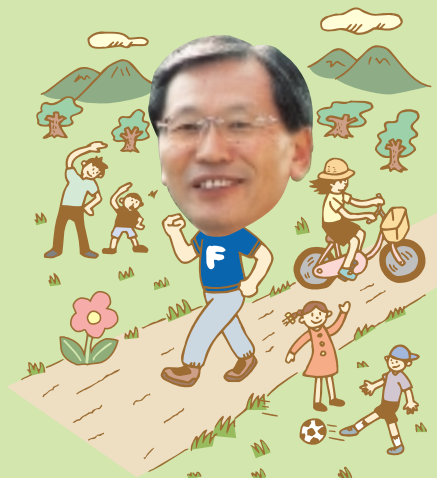
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



師走になると、年内に片付けてしまいたいことが目の前にいくつも浮かぶので、急に毎日が慌ただしく感じる。

先日、珍しく一日中、自宅で過ごすことができた。滞っている雑用を整理する絶好の機会で、時間を有効に使うために、テレビ大好き人間の私がテレビの前に座らないように、朝起きてすぐ「今日はテレビを見ない日」と決めた。

テレビを見ないで過ごすのは、私にとって、禁煙を始めればかりのころと似ていて苦痛で、昼食や夕食の時にはスイッチに手が伸びたが我慢した。時が過ぎるのが遅く感じられたが、その分用事がはかどり、少し本も読めて、充実した一日であったように感じた。

「今日はテレビを見ない日」

私の青春時代は、テレビの普及の時代でもあった。大相撲、力道山の空手チョップ、橋幸夫や舟木一夫の歌、長嶋や王の野球などスポーツや芸能番組が華やかで、高度経済成長と相まって、またたく間に全世帯にテレビが広まった。吉永小百合の大ファンの同級生

最近、高校生をはじめ若い人たちのほとんどがいつもケータイ(携帯電話)を手にして、様々な機能を利用して楽しんでいる。先日、東京の山の手線で座っている人全員がケータイに没頭していて、一言もしゃべっていない光景に接した時には、異様な感じがした。

ケータイは、やり取りできる情報量こそ多いが、画面を相手に一人で操作するので、周りの人とは疎遠になりがちであり、自分だけの世界に閉じこもる危険性があるように感じる。

そのためにも「今日はケータイを使わない日」と決めて、仲間や家族と思い切りしゃべり合う時間を持つことも必要だと思っ

は、ブラウン管上の彼女の顔にキスをして私たちを笑わせた。見ているだけで楽しく、あつという間に時間が過ぎてしまつテレビの魔力で国民すべてが考えなくなつてしまつことを案じて、社会評論家の大宅壮一氏は、「テレビは一億総白痴化する」と当時警告した。